

科の生徒占有率は昭和46年度ないし昭和47年度以降において緩慢な下降傾向を示している。

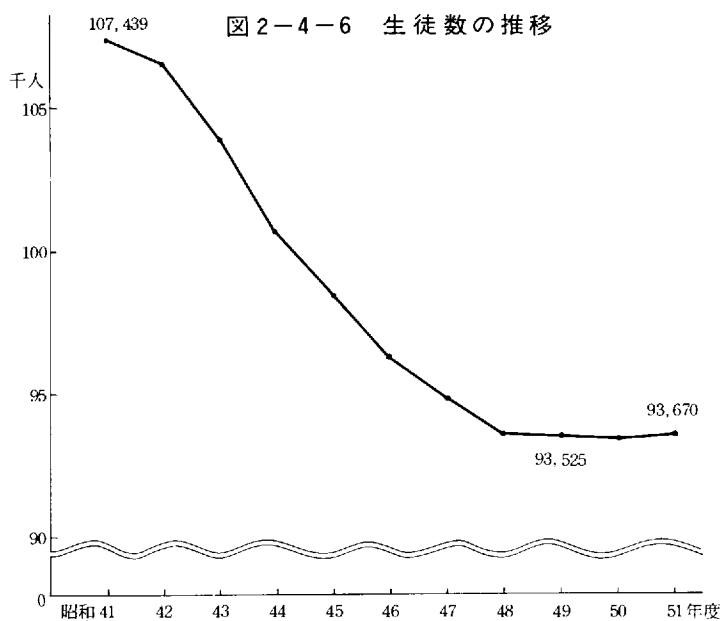
また、農業科の生徒占有率は昭和41年度から昭和44年度まで上昇し、それ以後、逐年下降して昭和51年度に、6.19%となっている。水産及び家庭科の生徒占有率は、ほぼ農業科のそれと同様な推移傾向を示しているが、その他についての生徒占有率は昭和41年度から昭和49年度まで上昇し、それ以後、下降傾向を示している。

以上の学科別生徒占有率の推移を要約すると、昭和41年度から昭和51年度までの高等学校における普通科の生徒数と普通科以外の学科の生徒数との比は、53対47から58対42へと推移しているといえる（図2-4-7）。これは、大学進学希望者の増加による高学歴志向等によるものと想定される。従って、今後は、将来の学科別進学志願者の動態や産業構造の変化等を見極め、普通科と専門教育を主とする学科との生徒比率の適正化を引き続き研究する必要がある。

(5) 設置者別、課程別高等学校生徒数

設置者別高等学校の生徒数の状況を昭和41年度から昭和51年度までの設置者別高等学校の生徒

占有率の推移からみると、公立高等学校の生徒占有率は、昭和41年度 85.47%であったが、その後、緩慢ながら昭和49年度まで下降し続け、昭和50年度において上昇に転じ、昭和51年度に82.12%となっている（表2-4-1）。



注：1. 「学校統計要覧」(昭41～昭51)による。
2. 生徒数には私立を含み、通信制を除く。

図2-4-7 学科別生徒占有率の推移

年度	普通	農業	工業	商業	水産	家庭	その他
昭和51年度	58.12	6.19	16.14	12.00	5.74	0.46	1.35
50	56.90	6.40	16.52	12.27	5.94	0.48	1.45
49	55.60	6.79	16.75	12.67	6.21	0.48	1.51
48	53.96	7.40	17.19	12.93	6.53	0.50	1.49
47	52.39	7.91	17.70	13.11	6.91	0.54	1.44
46	51.71	8.20	17.93	12.98	7.23	0.57	1.32
45	51.87	8.41	17.57	12.94	7.54	0.56	1.11
44	52.55	8.59	17.02	12.77	7.64	0.57	0.86
43	52.96	8.48	16.80	12.70	7.75	0.59	0.73
42	53.03	8.33	16.66	12.62	7.96	0.62	0.75
41	53.02	8.20	16.52	12.85	8.14	0.67	0.60

注：1. 「学校統計要覧」(昭41～昭51)による。
2. 学科別生徒占有率 = (学科生徒数) ÷ (高等学校生徒数) × 100
3. 学科分類のその他は、厚生、理数、専攻科、別科を含む。
4. 生徒数は、公立、私立の合計、但し通信制を除く。